



日下藤吉氏の退任に伴い、6月1日より新事務局長として悦秀夫氏=写真=が着任されました。悦氏は、近畿労働金庫(旧兵庫労働金庫)でコンサルティング営業等の業務に長く従事した後、独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構(旧独立行政法人雇用能力開発機構)で約6年間、能力開発ウォーキングコーディネーターとしてより質の高い職業訓練を目指して活動されておりました。これまでの職業経験等を活かし、会員満足度向上のためご尽力頂きますので、ご指導ご鞭撻の程よろしくお願い申し上げます。
(総務委員長 加山晴猛)

今後の予定

セミナー

中小企業診断士の人材育成事業(会員研修事業)

中小企業診断士の診断支援スキルの開発及び専門分野の知識習得等を目指し、公的支援機関の業務経験者による若手診断士、企業内診断士向けの研修を行います。公的支援機関の求める中小企業診断士とはどのようなものか、わからないまま依頼が来るのを待っているだけの時代は終わりました。今後の中小企業診断士としての業務を確保するためには、公的支援機関の立場を理解した人材が協会にたくさん所属していることが必要です。相互研鑽の場として皆さんをご参加をお待ちしています。
■参加費: 1回につき会員2,000円(非会員5,000円)
■定員: 30名
■申込方法: 下記の入力フォームからお申し込み下さい。
<https://ssl.form-mailer.jp/fms/367b3c1f201124>

■スケジュール(予定)

日程	会場	テーマ	講師
1 7月11日	亀	創業支援の現状と今後の取り組み	志水 功行
2 7月25日	901	ものづくり支援	渡辺 明
3 9月15日	304	経営改善支援	西口 延良
4 10月17日	303	公的支援機関コーディネーター人材の役割	藤田 勉
5 10月31日	亀	中小企業のブランド戦略	亀井 芳郎
6 11月14日	304	事業企画書の作成	松浦 敏貴
7 11月28日	1001	中小企業の財務力強化	高槻 仁志
8 12月12日	902	人材育成に関する知的資産経営報告書の活用	田坂 和彦
9 1月16日	304	情報化支援	堂山 一成
10 2月6日	304	中小企業向けのイベント内容を理解する	小畑 秀之

*会場は全て兵庫県民会館、時間は土曜日14:00~16:00

協会行事

日時	予定	主催・場所
6月15日(月) 19:00~21:00	新入会員歓迎会	神戸ハーバーランドホテルクラウンパレス神戸内「ザ マーカススクエア神戸」
8月28日(金)	理論政策更新研修(前期)	神戸市産業振興センター ハーバーホール
9月26日(土)	理論政策更新研修(後期)	神戸市産業振興センター ハーバーホール

研究会スケジュール

問い合わせ先: 078(362)6000

● オープンセミナー(会員研修委員会主催、ものづくり&SCM研究会と共催)

日時	場所	テーマ	講師
6月6日(土) 14:30~17:00	兵庫県民会館	2015年中小企業白書: 中小企業庁企画課と施策の解説他	連井智哉課長

● 診断技術向上研究会

日時	場所	テーマ	講師
7月9日(木)	兵庫県民会館	「地域創生・地方創生」の多方面からの考察と中小企業	研究会全員
8月6日(木)	302会議室	(変更の可能性有り): 診断士の役割・活動について	研究会全員
9月10日(木)	(変更の可能性有り)	診断士の役割・活動について	研究会全員

※開催日は原則、毎月第2木曜日。時間: 18:30~20:30
会場: 兵庫県民会館内会議室。
※連絡先: 加山 晴猛 harukay@silver.ocn.ne.jp

● ひょうごオンラインワン経営研究会(HOO)

日時	場所	テーマ	講師
6月4日(木) 18:00~20:00	神戸市産業振興センター	「経営品質」	亀井 芳郎
7月11日(土) 14:30~18:10	神戸市産業振興センター10階	「今、繁盛する老舗企業に学ぶ」(連携セミナー参加)	外部講師

※連絡先 代表: 中島 和樹 nrj21477@nifty.com
※原則は毎月第一木曜日18:00~20:00

● ものづくり&SCM研究会

日時	場所	テーマ	講師(進行役)
7月4日(土)	兵庫県民会館	ダイキンのものづくりと人材育成	ダイキン工業 生産管理部長小倉様
9月5日(土)	未定	経営革新計画策定について	谷口周児 会員

※原則毎月第1土曜日14:30~17:00(1、5、8、12月除く)
※連絡先: 三村 光昭 QZE02753@nifty.com

● 地域産業活性化研究会

日時	場所	テーマ	講師
6月3日(水)	神戸市産業振興センター 804号室	播但線沿線地域の活性化策について	研究会全員
7月1日(水)			
8月5日(水)			
9月2日(水)			

※開催日は原則、毎月第1水曜日。時間: 18:30~20:30
※連絡先: 代表 大場 一正 kohba@alles.or.jp
(今年度の会員募集は締め切りしました)

● 青年部会

日時	場所	テーマ	講師
6月1日(月)	ひょうご産業活性化センター ITサポート室	播但若手診断士の未来と現状について(仮)	参加者全員
7月6日(月)			
8月3日(月)			
9月7日(月)			

※開催日は原則第一月曜日19:00~21:00 ※参加資格: 49歳以下の支部会員
※連絡先: 内藤 敏 info@genba-ism.com

● プロコンスキル研究会

日時	場所	テーマ	講師(進行役)
7月13日(月)	神戸市産業振興センター 903号室	企業診断事例 プロコンスキル	東松英司
9月14日(月)			柴谷真治

※開催日: 原則、奇数月の第二月曜日 時間: 18:30~20:30
※連絡先: 東松 英司 e.toumatsu.7m@gmail.com
(参加はプロコン育成塾修了者と講師に限ります)

編集後記

「女から男へ」。文楽人形遣いの吉田玉女師が、師匠の玉男を襲名しました。人形遣いの修行は長く、「足十年、左十五年」と30年近くもの間、基本の型を習得するために費やされます。ましてや、人間国宝であった先代の技能であれば、その習得にかかる努力と時間は大抵ではありません。技術・技能の習得は、もちろん伝統芸能だけでなくコンサルティング技術も同様です。先人の型を憶え次世代に伝えていく、これも自分たちの使命と考えています。(玉)

No.105
平成27年6月15日発行

診断ひょうご

一般社団法人 兵庫県中小企業診断士協会 発行者 相良 紘
〒650-0044 神戸市中央区東川崎町1-8-4 神戸市産業振興センター8F
TEL (078) 362-6000 FAX (078) 361-8722 URL: <http://www.shindan-hg.com>

新たなビジョンの構築を!



一般社団法人 兵庫県中小企業診断士協会 副会長
奥村 隆生

我が兵庫県中小企業診断士協会も独立法人化して3期が過ぎ4期目に入りました。この間、我が協会の活動領域は急速に拡大してきました。平成25年より「中小企業・小規模事業者ビジネス創造等支援事業」における兵庫県の地域プラットフォーム構成機関として兵庫県下の中小企業支援の一翼を担うようになりました。また、「中小企業経営力強化支援法」に基づく経営革新等支援機関(認定支援機関)にも認定され、我が協会が中小企業支援機関として広く認知される機会が広がりつつあります。

活動領域は受託事業においても受託開発センターの努力により大きく拡大しています。以前から主な受託先であった(公財)ひょうご産業活性化センター様、(公財)神戸市産業振興財団様はもとより、新たに兵庫県様(産業労働部、農政環境部)、丹波市様など地方自治体や兵庫県信用保証協会様、兵庫県信用組合様など金融機関からも受託できるようになりました。このような受託先の拡大により平成27年度の受託事業規模は3千万円を見込んでおり、協会設立時に比べ倍以上になっており今後もますます拡大していくものと思われます。また、国の事業を直接受託した創業補助金地域事務局事業においては、平成24年度補正予算事業及び平成25年度補正予算事業と2期連続受託しました。このことは、中小企業事業者様と直に接する機会を創出したということにおいて、我が協会の新たな展開を予見できる事業であったと評価できるものです。

以上のように、我が協会は独立法人化後その活動領域を順調に拡大してきおり、今は今後の新たな展開を視野に入れるべき時期に来ていると考えられます。然らば、いかなる方向に我が協会を導いていくか、その方向性を決めるには「新たなビジョン」を構築しなければなりません。

もとより筆者には我が協会のビジョンをひとりで構築する能力はありませんが、本稿では新たなビジョン構築の議論を始めていただくため、筆者の問題意識を述べてみたいと思います。

ビジョンを構築するにあたりその構成要素をどのように考えるか、については種々の考え方がありますが、本稿においては①社会でどのような対外的評価を得るか、②事業運営の将来像、という2点に絞ってみたいと思います。

社会でどのような評価を得るか

中小企業診断士の社会における認知度が低いことは衆目の一致するところですが、認知度の向上を目指すためには我が協会が社会で果たすべき役割、我が協会が中小企業の経営にとっていかに有用な機能を発揮できるか、をもう一度明確にする必要があります。中小企業診断士は中小企業支援法に定められているように中小企業支援施策の実施の補助者であります。その補助者としての役割を社会一般に広く認知せしめるためには、中小企業支援施策のうち我が協会が主体的に関わり得る施策を選び出しその実施メニューを具体化し、その中小企業支援施策の実施者に提案し協力関係を構築していくことが認知度の向上を目指すうえで必要不可欠なことではないでしょうか。

事業運営の将来像

我が協会の事業は、大別して会員向け事業と中小企業支援施策の実施者からの受託事業で構成されています。

会員向け事業は、独立法人化して以来、会員研修委員会が中心となり企業内診断士向けセミナー等も含めた種々の研修事業の展開が活発化してきています。このことは我が協会の将来にとって明るい材料ですが、ここはもう一歩踏み込んで社会が求める中小企業診断士像を明確化し、それを実現するための体系的な研修事業計画を構築する必要はないでしょうか。

受託事業については、前述したとおり地方自治体や金融機関など受託先は拡大してきています。これも我が協会の将来にとって非常に明るい材料ですが、ここももう一歩踏み込んで、我が協会が主体的に関わり得る中小企業支援施策を具体化し、事業化できないか、その可能性を探る必要性はないでしょうか。中小企業診断士の知名度向上にも資することだと考えますので、是非議論していただきたいと思います。

以上、新しいビジョンの構築の必要性と筆者の問題意識を述べてきましたが、来年は役員改選期にあたり執行部の世代交代も予想されます。我が協会の明るい将来を実現するため、新しいビジョン構築の議論を始めようではありませんか。

新入会員紹介

安藤 学 (あんどう まなぶ)



平成25年4月の診断士登録です。日本を、地域をより良くしたいという思いから、同年5月にコンサルタント会社に転職し、出身の豊岡市に戻ってきました。現在は、全体最適のマネジメント理論であるTOC(Theory Of Constraint)とこれまでの医薬品、通販の両業界で培った経験を活用し、クライアント企業の生産、物流、プロジェクト等の流れ改善や人材育成を支援しています。今後、ご指導いただきながら、皆さまと共に地域を元気にしていければと思っています。末永いお付き合いをよろしくお願いいたします。

井上 能秀 (いのうえ よしひで)



平成26年5月に入会させていただきました井上能秀と申します。現在、兵庫県信用保証協会に勤務しています。企業内診断士です。昨年度は会社の業務の関係で、兵庫県中小企業診断士協会所属の先生方の企業支援に随行させて頂き、たいへん勉強になりました。ありがとうございました。今年からは職場が変わり、昨年度までと違った形で企業支援ができれば、と考えております。今後ともよろしくお願いいたします。

川崎 ますみ (かわさき ますみ)



4月から入会した川崎ますみです。平成25年4月に診断士登録し昨年独立した、立地調査を得意とする診断士です。小売・サービス・飲食業を中心に、出店前から出店後まで店づくりのお手伝いをいたします。以前いた会社では約17年間店舗の立地調査をしており、近畿のみならず東海・北陸・中国・四国、様々な土地へ行きました。おかげで「地図が読める女」です。趣味でフラメンコを習っている「踊る診断士」でもあります。どうぞよろしくお願いいたします。

後藤 雅明 (ごとう まさあき)



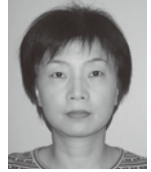
今年の4月に中小企業診断士登録と同時に兵庫県協会の会員となりました後藤と申します。1976年生まれ、出身は千葉県ですが、新潟・群馬・神奈川・宮城と渡り、2008年に神戸へ移住してきました。商品企画・開発、人事育成、運営管理に強みがあります。現在は診断士としての独立を目指し、日々精進しております。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

嶋 えりか (しま えりか)



平成12年に中小企業診断士登録の独立診断士です。前職は大阪市此花区のテーマパークで集客業務(営業・企画)を担当し、兵庫県内の行政・企業には大変お世話になりました。現在は、デザイン思考アプローチを活用したコンサルティング手法で、ビューティサロン(美・理容室、エステ、ネイル、リラクゼーション等)・小売店・飲食店などの創業支援、経営計画策定支援、販路拡大・販促支援などを手がけています。何卒よろしくお願いいたします。

稲見 友子 (いなみ ともこ)



本年4月より入会しました、三木市の稲見友子です。昨年6月に勤務していた証券会社を退職し、今年1月に診断士の他、社会保険労務士として自宅で開業しました。事務所名は「オフィス稲の花(いなのはな)」です。地元、人と組織をパワーアップできる診断士が目標です。今はまだ実務経験が浅いひよこなので、協会の研修や研究会には積極的に参加して行きたいと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。

岡本 隆 (おかもと たかし)



昨年4月に診断士登録を行い、11月に本協会に入会致しました。本年3月末で32年間勤めた会社を早期退職し4月より独立しました。前職は自動車製造業で、部品調達、海外生産企画、原価企画などを行ってきました。診断士としては製造業を中心に原価低減や販路開拓及び海外生産支援などを行いたいと考えております。宝塚市在住です。何かお役に立てることがあれば気軽にお声掛け下さい。

楠木 裕子 (くすき ゆうこ)



本年3月に入会、4月に診断士登録を行い、ほぼ同時に個人事務所を開業した楠木と申します。平成17年から司法書士として企業法務に携わってきた経験を活かし、「法務のわかる診断士」、「経営のわかる司法書士」として相乗効果を発揮しながら中小企業に関わるお仕事をしていきたいと考えております。まだまだ駆け出しの診断士ですが、出会いを大切に、日々精進してまいります。今後ともご指導の程よろしくお願いいたします。

小林 勝則 (こばやし かつのり)



地元金融機関の勤務を経て小野市役所に入行し、20年以上、財政・総務等の部署で勤務してきました。そして父の死去により、家業の肥料・農業販売、米穀集荷業を継ぐため、2011年に秘書課長の役職で退職しました。家業に関連する資格を取得し、代表取締役として経営に携わる傍ら行政書士に登録し、農家の方々の相談にも乗っています。今後、中小企業診断士として、農業全般に関して様々なバックアップを行ってまいります。

橋 雅清 (たしばな まさきよ)



平成25年10月に診断士登録いたしました、橋と申します。昨年度は特別会員でしたが、この4月から正会員になりました。地元兵庫を元気にするためのお役に立ちたいと考えております。元はIT関連のエンジニアでしたので、情報システム導入のお手伝いなどいたしますが、「ITありき」ではなく企業の実情に合った支援を心掛けています。これからもご指導よろしくお願いいたします。

土居 伊子 (どい よしこ)



皆様、はじめまして。4月より兵庫県診断士協会会員となりました。土居伊子と申します。私の強みは、経営資源の中核となる「ヒト モノ カネ」において、社会保険労務士の有資格者であり、「ヒト」の問題に関して、実務経験・知識があることです。また、中小企業での財務・経理の管理職としても経験があり「カネ」についても、一定の経験がある点です。昨年度、兵庫県診断士協会のプロコン育成塾を3月に終了しました。趣味は合気道(現在三段)です。今後ともよろしくお願いいたします。

永久 修 (ながひさ おさむ)



こんにちは。現職の兵庫県職員です。診断士登録は平成10年4月で年数はそこそこ経ちましたが診断士としての活動は十分とは言えませんでした。今後、診断士活動活性化のため協会にも入会させていただきました。経験分野は通算では情報システム部門が一番長く、その他農協検査、統計分析、商工振興・観光などの分野を経験しました。モットーはITと想像の翼をツールとした自由な発想です。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

斐山 孝詞 (ひやま たかし)



2014年3月中小企業大学校診断士養成課程を修了し登録、以後独立診断士として活動しています。それまでは、鉄鋼二次製品メーカーにて生産管理・工場FA化及び基幹系情報システム構築・関係子会社の管理業務を歴任しました。その実務経験を基に生産マネジメント(QCD、5S、目で見える管理)体制の構築や工場業務改善及び経営戦略策定等の企業支援に際しては、各企業の実情に則した実効性ある支援を心掛けて活動しています。皆様、どうぞ宜しくお願い致します。

藤本 正一 (ふじもと さかす)



みなさま、はじめまして。2013年に診断士登録し、昨年の10月から兵庫県中小企業診断士協会に入会させていただきました。家電メーカーの半導体設計部門に勤務しておりましたが、昨年の5月に退職、独立いたしました。現在は、兵庫県ではないのですが、よろず支援拠点のサブコーディネーターをやらせて頂いています。中小企業のおよアドバイザーとして取り組んでいきたいと思っておりますので、今後ともご指導のほどよろしくお願いいたします。

前田 充 (まえだ みつる)



「おばあちゃん 何になりたい 孫が聞く」。テレビから流れてきた川柳です。もし、何になると聞かれても困る私は、終戦後に播州山崎町で生まれました。以来、仕事は大阪で、住居は兵庫で暮らし、定年後の平成24年春に診断士登録を得ました。兵庫県協会とのご縁は、25年に「プロコン育成塾」に入れて頂いたことに始まります。これから子供のように大きくなるはなりません、一社でも二社でも県下中小企業の方々に喜んでいただける診断士になりたいと考えています。

横尾 大輔 (よこお だいすけ)



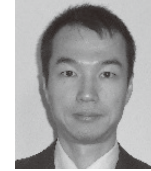
2013年4月に診断士登録をして、翌年兵庫の協会に入会しました横尾大輔と申します。仕事は作文・小論文の添削という事業内容で、二代目後継者として日々奮闘しています。昨年協会主催の「プロコン育成塾」を受講させていただきました。プロコンの難しさや厳しさを知ると同時にやりがいというものを実感することができました。今後は、今の仕事から改めて学習塾運営・スクール運営を専門領域にした診断士活動をしたいと思っています。また、自分の会社が成長し続けることも目指します。今後ともよろしくお願いいたします。

中嶋 進次 (なかじま しんじ)



昨年中小企業診断士に合格し診断士協会に入会しました中嶋進次と申します。ゼネコン・信託銀行・監査法人コンサルファームでの営業、コンサルタントの経験、ノウハウ、ネットワークを生かし、クライアント企業の企業価値向上のサポートをします。専門はマーケティング業務です。売上向上(市場開拓、企業マッチング)新規事業開発(ビジネスプラン、目利き)に取り組み、アイデアを出し合い、チャンスに変換させる診断士を目指し頑張りたいと思います。

西谷 雅之 (にしたに まさゆき)



平成21年4月に診断士登録し、昨年6月に入会いたしました。自宅は大阪の堺ですが、10年以上神戸でシステム開発の仕事をしてきたので、兵庫県の各地のユーザー先とお仕事をさせていただきました。現在では、おもにIT化およびWebマーケティング分野の経営支援を行っております。今後ともよろしく申し上げます。URL: <http://fut-light.com/>

福島 猛 (ふくしま たけし)



皆さん こんにちは。2000年に登録しました福島猛です。第9期プロコン育成塾に参加させていただき、その後もプロコンスキル研究会に参加を希望して、26年度から兵庫県中小企業診断士協会に加入しました。建設会社に35年勤務後、現在福祉団体に勤務中です。育成塾の同期の方々が独立して頑張っておられる姿を見て焦っています。今年から各種の会合に出席し、独立に向けレベルアップを図ろうとしています。よろしくお願いいたします。

堀本 修一 (ほりもと しゅういち)



4月に入会させていただきました堀本修一です。現在は銀行本部で外国為替の業務に携わっています。支店で融資業務を担当している時に、中小企業の真のニーズにお応えするには銀行融資では対応しきれないと感じて中小企業診断士を目指しました。中小企業の方の少しでもお役に立ちたいと思っていますが、資格を取ったばかりで何から始めてよいかかわからないのが現状です。いろいろな勉強会等に参加させていただき少しずつ力をつけていきたいと思っています。何卒よろしくお願いいたします。

正岡 慎一 (まさおか しんいち)



昨年4月に診断士登録をし、同年5月に入会させていただきました正岡慎一と申します。現在は兵庫県内に23店舗を展開する不動産会社に勤務しており、その中で経営及び企画に携わっています。事業内容は不動産仲介・不動産管理・資産コンサルティング・相続支援などです。企業に勤めているため診断士としての活動は限られますが、まずは、少子高齢化や人口減少により年々事業環境が厳しくなっているオーナー様の利益最大化に向けて、今まで学んできたことを活かして頑張っていきたいと思っております。今後ともよろしくお願いいたします。

このほか、青山 雄一郎、小野 裕司、高橋 伸明、樹田 隆史、松平 充希の5氏も入会されました。

県内の創業支援策を分析、今後の取組方法を提言 平成26年度調査・研究事業報告

創業支援については、1990年代半ば以降、国や地方自治体の事業として、創業を支援する政策を打ち出し始め、特にベンチャー企業を育成する支援が行われてきたが、開業率が減少し廃業率が増加する傾向は続いている。

しかし、ここ数年は創業補助金がクローズアップされるなど、創業に関する注目度が高まってきている。私たちは、兵庫県下の公的支援機関等でのような創業支援策が行われているのかを現場の支援者の声を集めることで、中小企業診断士として提供すべき創業支援についての示唆を得るための調査・研究をおこなった。



兵庫県中小企業診断士協会
会員 志水 功行

調査の概要

創業支援は、経営支援より難しいとされる。なぜなら、どこに創業希望者が存在しているのか、既存の事業者と違って支援者側からは見えにくいからである。従って、継続的な支援を行えるように準備しても、窓口を訪ねてもらえないか、そうした支援策があることさえも周知できていないのが実情のようである。

市町レベルにおいて、平成26年度より創業支援事業計画を提出し、産業競争力強化法に基づく認定を行う制度が始まっている。平成27年1月現在では、兵庫県下で神戸市、姫路市、尼崎市、西宮市、三木市、加古川市、宝塚市、芦屋市が認定されており、各市の支援機関へのヒアリングとともに、データ分析を行った。そして、これらの創業支援計画の中身を検討することにより、地域的な特徴を把握するとともに活性化のためのキーとなる項目を導き出すことにした。

(1) 調査にあたっての問題意識

- ①都市部と周辺地域の開業率の現状確認
 - ②開業率の地域間格差を生み出す要因仮説
- (2) 創業・地域活性化に関する先行研究
- (3) 中小企業白書における創業についての認識
- (4) 兵庫県下の創業支援の状況の調査
(創業支援事業計画)

調査の総括

今後の創業支援に関して次の4点について中小企業診断士として考慮しなければならないと考えられる。

①創業実現に向けての2つの方向性

時代の流れとともに創業形態が多様化していることを「創業」を支援する側も認識しなければならない。ビジネスプランコンテストで表彰されるようなしっかりとした事業計画を作成し家計を支えられるくらいの収入を目指す創業形態に対して、家庭に複数の収入源があり100万円程度の収入で満足できるものもあることを認識すべきである。この2つの方向性に応じて、「創業

セミナー」の内容なども変えていかなければならない。

②創業における地域ネットワークの活用について

創業支援の内容は、事業計画を作成するだけではなく、開業後のフォローアップが必要である。また、相談内容としては、アイデアのブラッシュアップから税制面までさまざまであり、業種によっては一般的な相談だけでは済まないケースも多く、一つの支援機関だけでは対応することが困難な状況にある。

そのために地域の自治体や支援機関、金融機関等のネットワークをしっかりと構築し、創業者が迷子にならず、安心して支援機関を利用できる仕組みが必要になっている。

③コネクターループ企業存在

先輩起業家が後輩起業家を育てる仕組みは極めて効果的であり、行政としては、積極的にこうした「生態系」ともいえるべき仕組みを全国各地で作っていく必要があると提言している。特に、若者にはそうした周囲の相談相手、伴走型相談者の存在が有効である。

経済的なつながりだけでなく、地縁・人縁的なつながりがあり、相互の信頼関係が起業の成功率を高めていったと考えられる。地域における起業を促進するためには、こうした視点を再び呼び起こす必要があるのではないかと考える。

地域の中核的な存在となるコネクターループ企業(※)に地域の小規模事業者との関係性を高めてもらい、創業者に活力のある地域の姿を見せることにより創業への意志を固めてもらうきっかけにしたいということである。

自治体や中小企業支援機関等による創業支援においては、そのような先輩起業家が後輩起業家を育てる仕組みの構築を図り、起業家にとって起業・創業しやすい環境を整えるなどの間接的な起業家支援策も併行して充実させていくことが重要である。

④コーディネーター人材の存在

「神戸開業支援コンシェルジュ」は市外郭団体が中



大勢の関係者が集まった報告会

心となり、幅広い関係機関と連携し、それぞれのステージに合わせた創業支援を実施している事例として紹介されることも多い、支援ネットワークのモデルである。

創業希望者が円滑に創業できるまで支援していくためには、各支援機関の協調関係が必要になっている。各支援機関の紹介だけでなく、各支援機関の制度を深く理解し、起業希望者の立場になり必要な道筋やステップを横断的に提案できる仕組みが重要になってくる。そのためには、各支援機関の架け橋となるコーディネーター人材の存在が必要である。

まとめ

今回の調査・研究を通じて、当初仮説を設定しヒアリング内容をまとめる作業から入ったが、地域の小規模企業支援についての考え方や中小企業振興策について先行の研究を確認することで、提言すべき内容・論点

が明確になった。

また、県内各地域でも創業支援事業計画が策定され、商工会議所、商工会等の役割やネットワークの重要性が認識されるようになってきていることが明らかになった。しかし、予算の制約や人員の削減など厳しい環境に直面しながら、さらに新たな事業に取り組むことで苦勞されている職員の方々のお話を聞くことが多かった。

本調査の報告会を広く自治体や公的支援機関にご案内したところ、多数のご参加をいただいた。発表終了後、意見交換を行い、訪問させていただけなかった機関からも貴重なご意見をいただくことができた。

その中には、やはり現職員だけでは限界があり、他地域を参考にすることや中小企業診断士からの支援にも期待するご意見をいただいております。引き続き「創業支援」に関して支援機関や中小企業診断士が活用できるマニュアルを作成していきたいと考えている。

※26年中小企業白書では、地域の中で取引が集中しており(取引関係の中心となっているハブの機能)、地域外とも取引を行っている(他地域と取引をつなげているコネクタールの機能)企業をいう。

創業支援研究会メンバー

志水功行、加山晴猛、中嶋崇、内藤敏、木之下尚令、前田充、堂山一成(敬称略)

報告書全文は、当協会ホームページ

(<http://www.shindan-hg.com/>)に掲載しています。

第4回社員総会を開催

(一社)兵庫県中小企業診断士協会第4回社員総会が、去る平成27年5月21日に神戸市産業振興センターにおいて開催されました。

第1号議案「平成26年度事業報告書及び決算計算書の承認に関する件」についての報告と会計監査の結果報告があり、若干の質疑応答の後採決の結果、第1号議案は可決承認されました。引き続き、第2号議案「平成27年度事業計画(案)及び収支予算書(案)の承認に関する件」について説明があり、若干の質疑応答の後採決の結果、第2号議案も可決承認されました。

閉会に先だち、ご来賓としてご臨席いただきました兵庫県産業労働部産業振興局経営商業課課長 法田尚己様、(公財)神戸市産業振興財団専務理事 小林隆一郎様よりご祝辞を賜りました。

最後に、松浦副会長が閉会のあいさつを行い、第4回社員総会は滞りなく終了いたしました。

総会終了後、神戸市産業振興センターレセプション

ルームに会場を移し懇親会が催されました。

懇親会には、兵庫県産業労働部、(独法)中小企業基盤整備機構近畿本部、(公財)ひょうご産業活性化センター、(公財)神戸市産業振興財団、兵庫県商工会連合会、兵庫県中小企業団体中央会、神戸商工会議所、兵庫県信用保証協会、商工組合中央金庫神戸支店、日本政策金融公庫神戸支店、日本政策金融公庫国民生活事業本部、近畿税理士会神戸支部、日本弁理士会近畿支部兵庫地区、兵庫県立大学大学院、兵庫県信用組合よりご来賓の参会を賜り、またそれぞれの代表の方より我が協会の中小企業に対する経営支援活動について期待と叱咤激励のお言葉をいただきました。

参会した会員諸氏は、ご来賓の方々との対話を通じ交流を深めさせていただくとともに、和やかな一時を過ごしていました。



社員総会であいさつする
相良会長

中小企業診断士の目で見えた中国事情 ②

もったいない日本企業の撤退



兵庫県中小企業診断士協会
会員 上山 芳樹

今年も春節(旧正月)、ゴールデンウィークに帰国した。マスコミをにぎわせるように、昨今の円安、人民元高傾向の中で中国人の訪日はかなり多くなっている。春節の民族大移動の際、4月の花見の際には領事館がビザの発行に手を焼くほどの訪日客があった。そして注目されるのは彼らの買い物の多さ。「爆買い」と称され、便座、炊飯器等の電気製品が爆発的に売れていく。中国人の買い物好きはかなり有名で、自分のものに加え親戚、友人への買い物も多い。手に持ちきれないほどの買い物をして帰国する。観光立国を目指すわが国にとって、彼らの買い物はかなりの経済効果である。

当社の従業員も昨今日本への旅行が活発になっている。12月から毎月のように従業員の日本への旅行がある。上海へ戻ると彼らの口々から「日本は綺麗ですね。空気は綺麗でいつも青空。道端にはゴミひとつありません」「日本人は素晴らしいですね。ゴミはすべて分別して捨てていますね」「食べ物は何を食べてもおいしいですね」と。そして彼らからは「また近いうちに行きたい」と。

日本人から見れば当然のことであるが、彼らから見れば素晴らしいこと。やっぱり日本国民は素晴らしいのかな。

静かになった? 上海の夜

その半面で日本からの出張者はかなり厳しいお財布事情。3年前のレートが12.5円だったのに対し、昨今では20円近い。今まで1万円で800元近くに両替ができたのが、今では500元弱。その影響で上海の夜もかなり静かになってきている?

円安・人民元高傾向で、日系企業の中国撤退も始まっている。為替の急激な変動はコスト面のメリットを打ち消し、日本国内生産への回帰が進んでいる。

これについては個人的にはもったいないことでもありと判断する。撤退する前にもう一度自社を見つめ直し、ビジネスモデルの再構築を行い、再建の方向で検討してほしいものである。せっかく多額の経営資源を投入し製造や販売の拠点を作ってきたのに…。そして

上山 芳樹(うえやま よしき)

兵庫県神戸市出身。大学卒業後、建設機械メーカーに入社。主に財務、企画部門に携わり2011年7月から上海の現地法人に転出。現在に至る。1999年中小企業診断士登録。趣味は読書とジョギング。座右の銘は「面白き事なき世を面白く」で、色々な出会いを大切にしている。今回の中国上海勤務により中国の現地スタッフはもちろん、同じく上海で働く日本人との友好を深め幅広い出会いを楽しんでいる。

日本の26倍の国土、10倍の人口といった豊富で魅力のある市場を…。

そんな気分になりながら新たな目線で「中国」を見つめてみる。

中国人はGoing My Way?

一昨年の流行語大賞にもなった「おもてなし」。上海に来て日本人のこの精神は相手の気持ちになって物事を考えるすばらしいことと思う。しかし人の細部のことまで気遣い気苦労も多くなる。

中国人は悪く言えば細部に気がつかない、気を遣わない。しかし気苦労も少ない。よく言えば思ったことをはっきりと言う。腹がない。だから人が悪口を言われていても比較的気にしない。喜怒哀楽が明確だ。

上海に来て「日本人は『焼き餅焼き』が多いね」とよく言われる。

中国人は時短がうまい?

業種にもよるが、我々製造業の場合は全員が定時で一斉に帰宅する。

繁忙期には職場の残業や公休出勤もあるが、基本的には定時主義である。日本のような上司や周りの顔色を見ながらの残業やサービス残業は一切ない。

それでいて仕事は速い。的確な指示さえすれば想定よりかなり早く仕上げてくれる。

おかげで我々も気を遣うことなく帰宅できる。上海では日本人駐在員も多く色々なサークル活動がある。自分も2つのサークルに入って楽しんでいるが、メンバーのほとんどが午後6時30分や7時の集合時刻には間に合わせて会合等が始まる。日本では考えられない風景である。

これが過去から言われている日本人の島国気質、対して中国人の大陸気質なのだろうか。ほとんど同じ顔をしていながら性格や考え方はかなり違う。

そんな国同士がお互いの長所を発揮すれば、もっと良いものやサービスができるのではないだろうか。

そう思いながら今日も上海での日々を過ごしている。

委員会報告 1月~5月

● 会員研修委員会

委員会開催日	主な議題
1月21日(水)	平成27年度予算検討。日銀セミナー講演・企業内診断士祭り準備
2月18日(水)	平成27年度事業計画、調査研究事業検討、企業内診断士祭り準備
3月11日(水)	平成27年度事業計画、調査研究事業検討、企業内診断士祭り準備
4月6日(月)	平成27年度運営体制、イベント検討、H27年度調査研究事業採択
5月25日(月)	平成27年度運営体制、イベント決定、6・7月実施イベント準備

【事業報告】
会員研修委員会は、診断士協会各員の診断・助言のスキル向上とネットワーク形成の促進に役立つ事業を実施するとともに、企業内診断士の協会活動への参画の場を提供するために、調査研究事業・企業内診断士祭り・オープンセミナー(ものづくり・人材育成セミナー・日銀神戸支店長講演など)のイベント・セミナーを実施します。会員の皆さんには、イベント・セミナーへの参加はもちろん、会員研修委員と一緒に企画・運営にも参画して頂くようお願い致します。

● 受託開発センター

委員会開催日	主な議題
2月13日(金)	平成26年度受託実績のまとめ、平成27年度受託見込みのまとめ
3月~4月	各担当者が案件ごとに平成26年度受託実績を事務局と確認
4月~5月	各担当者が案件ごとに平成27年度受託活動中

次回委員会は、上記の4月~5月の各担当者の活動をまとめる議題で、6月に開催予定。

● 総務委員会

委員会開催日	主な議題
1月14日(水)	経営診断実務研修事業の収支決算について 第4回社員総会議案書の作成日程について
2月10日(火)	第4回社員総会議案書の準備スケジュールについて 総務委員会の平成27年度事業計画案と事業予算要求について
3月11日(水)	平成26年度の収支見直しについて 平成26年度総務委員会事業の総括と事業報告案について 平成27年度総務委員会事業計画について
4月14日(火)	第4回社員総会の準備について 平成27年度総務委員会事業の役割分担について 平成27年度新入会員歓迎会の準備について 平成26年度決算報告について
5月12日(火)	平成27年度理論政策更新研修及び新入会員ガイダンスについて 平成27年度経営診断実務研修事業について

【事業報告】
平成26年度は、創業補助金の地域事務局をはじめ、協会関係各位の堅実な活動の結果、会員数が十数名増加しました。また、平成26年度決算も黒字収支となりました。

● 広報委員会

委員会開催日	主な議題
2月9日(月)	平成27年度診断ひょうごの企画について、ホームページの見直し
3月9日(月)	新年度方針検討、ホームページの見直し、対外情報発信方法の検討
4月13日(月)	診断ひょうご6月号内容検討、ホームページ見直し、展示会出展に関する検討
5月11日(月)	診断ひょうご6月号校閲

【事業報告】
診断ひょうごの発行を行うとともに、ホームページを見直しています。また、中小企業向けの展示会出展に向けて準備を進めています。

ニュース

■ 日銀神戸支店長講演に80人

恒例のオープンセミナー「日銀神戸支店長が語る!最近の金融経済情勢について」を2月6日(金)、神戸市産業振興センターで開催、約80人が参加した。講師は、日本銀行神戸支店長の野原強氏。アベノミクスに基づく金融政策や兵庫県の経済情勢などについてわかりやすくお話をいただき、講演の後の質疑応答も大いに盛り上がった。

■ 第3回企業内診断士祭り「わっしょい!!」

企業内診断士の能力アップと交流を目的にスタートした「企業内診断士祭り『わっしょい!!』」。3回目を迎えた今年は、3月15日(日)、兵庫県民会館で行われ、約60人が参加した。「経営学理論から見た企業内診断士の役割」と題して、大阪経済大学経営学部の三島重顕准教授が基調講演。この後、「活躍する企業内診断士の発表」「ワールドカフェによる意見交換会」、最後は懇親会も開かれ、企業の枠を超えた交流が行われた。



「活躍する企業内診断士」として発表する
左から大口憲一、浅野洋平、指尾成俊の各氏

■ 第4回ひょうご青年合同フェスタ

若手の経営者や経営幹部の問題解決と懇親を図る第4回ひょうご青年合同フェスタ(青年部会主催)が3月19日(木)、神戸市産業振興センター内の「神戸食堂 はあと」で開かれた。青年部員を含めて約40人が参加。テーブルに分かれて「売上拡大」や「人材育成」といったテーマで「対話」を行い、ビジネス課題の解決に向けた手がかりを探っていた。



ひょうご青年合同フェスタで「対話」を楽しむ参加者

■ 近畿ブロック会議を開催

近畿ブロック会議が、4月10日(金)に、大阪市のマイドームおおさかで開かれた。福井、滋賀、京都、奈良、大阪、和歌山、兵庫の各協会から15人が出席。「中小企業診断士のブランディング戦略」に関して、診断士バッジを新しくするのに伴い会員からデザインを公募すること、「診断士の日」をつくることなどについて報告および意見交換を行った。また、次回(秋)の近畿ブロック会議を、創立30周年記念式典と併せて滋賀県協会主催で行うこと、今年度のステップアップ研修を滋賀県で行うことを決めた。